

推進委員長あいさつ

本日ここに、“第73回社会を明るくする運動”内閣総理大臣及び沖縄県知事メッセージ伝達式及び街頭車両広報宣伝活動出発式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

この運動は、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をスローガンに、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

沖縄県内では刑法犯認知件数のうち窃盗犯が前年度の1585件を大きく上回っています。また、全国各地で相次いでいるSNSやスマートフォンのアプリを用いた闇バイトへの勧誘が、若年層を犯罪に引き込む一因となっており、極めて深刻な問題となっています。昨今の社会経済情勢の急激な変化や一般刑法犯の検挙人員に占める再犯者の割合が高まっている現状を受け、犯罪や非行のない地域社会をどのように実現していくかが急務の課題となっております。

このような犯罪や少年事件を減らし、安全で安心な地域社会を気づいていくために家庭は勿論のこと、学校関係者やそれぞれの地域にお住まいの方々から積極的な情報提供をお願いするとともに、全ての市民がそれぞれの立場にまいて力を合わせていくことが必要であると考えています。

この運動を地道に根気よく継続していくことにより、犯罪や非行のない誰もが安心して暮らせる明るい社会の構築、また罪を犯した人たちが更生し、地域に受け入れられる社会の実現に大きく貢献するものと期待しております。

結びに、本運動が明るい社会づくりに向け、広く地域社会に浸透することを祈念申し上げ、挨拶と致します。

令和5年 7月 3日

第73回“社会を明るくする運動”

宮古地区推進委員長

宮古島市長 座喜味一幸